

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878

環境教育 「まず、今できることから」

歴史に学ぶ



美しうかが生かされる。
 日本海軍の歴史、環境から

鳴き砂のメカニズム
 鳴き砂の正体はきれいに磨かれた
 石英の砂の粒です。きれいな石英の
 砂が圧力を加えることにより振動
 して音になると考えられています。
 海が汚れたら汚泥が混ざるとなり
 この石英の砂は少しでも汚れがくと
 もう鳴らなくなります。
 鳴き砂はきれいな海の証明でも
 あるのです。

「琴引浜の鳴き砂」



浅橋のこころ

浅橋のこころ
 浅橋舞鶴
 岸壁の妙も
 現状では美し
 くきれです。

遠い潮路の
 なつかしく
 君を訪ねて
 来た港
 あの月のま
 里かきしめ
 ましたの松崎
 舞鶴
 引揚船の
 いまよりこ



引揚船が着た旅の風景
 戦後七十年の歴史はこれだ。

微小貝
 もうひとつ海の奇麗
 さを示す証
 浜には微小貝の棲
 息事業があります。
 微小貝とは大きさが
 2mm前後の非常に
 小さな貝のことです。
 かつては日本全国の
 海岸で見られたの
 貝も海岸線の人工
 的変形や産業生
 活排水の流入などの
 汚染によりこのまうな
 小さな弱い生物はめ
 っきり減かしてしま
 ました。琴引浜には
 90%種類もの微小
 貝が棲息しているも
 考えられるが
 このまうな海岸は
 全国にも例がないです。
 キーキー鳴きました。



鳴き砂を体験

